

令和3年度国際交流・多文化共生関連事業について

本市では、令和3年3月に「京都市国際都市ビジョン」を策定し、同ビジョンに掲げる本市の目指す国際都市像の実現に向け、各局等が相互に連絡、調整し、円滑かつ総合的な推進を図るため、庁内会議である「京都市国際交流・多文化共生推進会議」を設置しています。

令和3年度の推進会議（令和3年6月23日開催）において、当室及び各局区から報告のあった今年度実施予定の国際交流・多文化共生関連事業は、下記のとおりです。

記

1 「京都市国際都市ビジョン」について

＜本市が目指す国際都市像＞

- 1 世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち
- 2 海外都市との連携が強まり、国際社会に貢献するまち
- 3 さまざまな世代で国際交流や多文化共生の意識が高まり、国際感覚をもった人が育つまち
- 4 多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

2 国際交流・共生推進室の取組

- | | | |
|-------|---|----------|
| 資料3-1 | 世界歴史都市連盟事業 | ＜都市像1・2＞ |
| 資料3-2 | 京都・キエフ姉妹都市提携50周年記念事業及び
京都・ザグレブ姉妹都市提携40周年記念事業 | ＜都市像2＞ |
| 資料3-3 | 多言語情報発信サポート事業 | ＜都市像1・4＞ |

3 各局区での取組

- | | | |
|-------|--------------------------|------------------|
| 資料3-4 | 京都スタートアップ・エコシステム推進プロジェクト | ＜産業観光局：都市像1・2＞ |
| 資料3-5 | イクレイ東アジア地域理事会への出席 | ＜環境政策局：都市像2＞ |
| 資料3-6 | KYOTO STEAM－世界文化交流祭－ | ＜文化市民局：都市像1・2・3＞ |

4 参考資料

- | | |
|-------|------------|
| 資料3-7 | 各局国際関連事業一覧 |
|-------|------------|

世界歴史都市連盟事業
(令和3年6月9日付け広報資料より一部抜粋)



1 世界歴史都市連盟について

(1) 目的

人類の将来にわたって、万人が永遠に希求し続けるべき世界平和の達成に貢献できることを願い、歴史都市という共通の絆で結ばれた都市が、将来にわたって日常的な交流を促進するための組織で、歴史都市が直面している課題の解決とさらなる発展のため、情報交換、共同研究などの事業を行うことを目的とする。

(2) 経過

昭和62(1987)年に第1回世界歴史都市会議が京都で開催された際、会議参加の26都市を会員として世界歴史都市会議協議会を設立。事務局を本市に置き、京都市長が会長を務めてきた。

平成6(1994)年、平安建都1200年事業の一環として、第4回世界歴史都市会議が再び本市で開催されたのを契機に世界歴史都市連盟が設立された。現在、本市の姉妹都市フィレンツェ市や西安市などで計16回開催。直近では平成30(2018)年にトルコ共和国ブルサ市で開催。

2 第17回世界歴史都市会議 及び 2021年度世界歴史都市連盟理事会について

今年度は、6月24～26日にカザン市(ロシア連邦)で開催される「第17回世界歴史都市会議」にリモートで参加予定。会議では門川市長が会長挨拶を行うほか、伝統をテーマにしたセッションにおいて、京都市の取組として、祇園祭の持続可能性について発表。

また、6月16日には2021年度世界歴史都市連盟理事会を開催し、「第18回世界歴史都市会議」の開催都市の選定等を行った。(理事会の決定事項は、6月25日の総会にて報告予定)

(1) 第17回世界歴史都市会議

ア 会議日程 令和3年6月24日(木)～26日(土) (26日は実地参加のみ)

イ 主催都市 ロシア連邦カザン市

ウ リモート会場 分庁舎4階 第4・5会議室

エ 本市参加者 門川 大作 京都市長・世界歴史都市連盟会長
田中 明秀 京都市会議長
柴田 重徳 世界歴史都市連盟事務局長 ほか



カザン市市章

オ プログラム概要 (いずれも日本時間)

テーマ：「地域のアイデンティティ基盤としての歴史・文化遺産」		
6月 24日 (木)	16:00-17:00	開会式 ➤ 開会挨拶(門川市長登壇) ➤ 基調講演 ➤ 世界子ども絵画コンテスト入賞作品発表(京都市内の子どもの作品も応募)
	20:30-22:00	セッション1「大都市における民族的調和」(パリ市等が発表)
	22:30-24:00	セッション2「Covid-19パンデミック下の歴史・文化遺産」(西安市等が発表)
6月 25日 (金)	15:00-16:30	セッション3「多民族国家における母語の継承と発展」(ロシア代表者等が発表)
	16:30-17:50	セッション4「過去、現在、そして未来を繋ぐ～現代まで受け継がれる古き伝統～」 門川市長発表「現代に繋がる多様性と普遍性～祇園祭を例にして～」ほかコンヤ市等発表
	19:30-21:00	世界歴史都市連盟2021年度総会(門川市長議事進行) ➤ 2021年度理事会決議事項報告 ➤ 第18回世界歴史都市会議開催地発表
	21:00-22:30	閉会式 ➤ 会議宣言文(門川市長登壇) ➤ 閉会挨拶

<参考>カザン市について

カザン市は、ロシア連邦タタールスタン共和国の首都で、人口約150万人のロシア第4の都市。ロシア正教徒とイスラム教徒とが平和的に共存する多文化共生のモデルとなる都市。ヴォルガ川沿いの美しい街並みと豊かな自然が特徴。2018年のロシアワールドカップでは、日本選手団のホストシティとなった。



<カザン市の街並み>
～ロシア正教会とモスクが隣同士に並ぶ～



<カザン市役所>

(2) 2021年度世界歴史都市連盟理事会

本市を含む8都市の理事都市からなる世界歴史都市連盟理事会が6月16日に開催され、次回、来年度の第18回世界歴史都市会議の開催地として、安東市（韓国）と都江堰市（中国）の2都市が立候補し、選挙の結果、安東市が選出されました。

また、世界歴史都市連盟加盟都市が増え、総数123都市となりました。

ア 日 時 令和3年6月16日（水）16:00～17:30（日本時間）

イ 主 催 世界歴史都市連盟事務局（京都市）

ウ 会 場 北庁舎4階 第1応接室

エ 出席都市

会 長：京都市

副会長：西安市（中国）、コンヤ市（トルコ）

理 事：バララット市（オーストラリア）、慶州市（韓国）、
リュブリャナ市（スロベニア）、バート・イシュル市（オーストリア）、
シーラーズ市（イラン）
プレゼン都市：安東市（韓国）、都江堰市（中国）

オ 議事 ① 新規加盟都市
② 2020年度事業及び決算報告
③ 2021年度事業案及び予算案
④ 第18回世界歴史都市会議開催都市選定

京都・キエフ姉妹都市提携50周年記念事業・
京都・ザグレブ姉妹都市提携40周年記念事業

1 京都・キエフ姉妹都市提携50周年記念事業

新型コロナウイルスの影響により、代表団の相互訪問は調整中であるが、訪問可否の如何によらないものとしては、現時点で以下の記念事業の実施を検討している。

※「新型コロナの感染状況」及び「両市代表団の訪問可否」等により、今後変更となる場合あり

- (1) 姉妹都市提携50周年記念オリジナルフレーム切手の発売（時期：8月頃）
両市間の交流に関する写真や両市を紹介する写真等を題材としたオリジナル切手（1シート84円切手10枚）を300シート作成し、京都市内の郵便局等で発売する。
- (2) キエフ国立フィルハーモニー交響楽団による京都公演（時期：12月22日）
50周年記念事業の一環として、キエフに本拠を置く国立フィルハーモニー協会の専属オーケストラである同楽団による京都公演を、京都コンサートホールで開催する（民間企業が主催）。
- (3) キエフ市シンボルツリーの記念植樹（時期：冬期）
駐日ウクライナ大使館からの提案を受け、キエフのシンボルツリーである「セイヨウトチノキ」を京都市内の公園（宝ヶ池公園 子どもの楽園内で調整中）に植樹する。
- (4) 姉妹都市提携50周年記念パンフレット作成（時期：年度末）
姉妹都市提携50周年を記念し、これまでの交流をまとめた記念パンフレットを作成する。

2 京都・ザグレブ姉妹都市提携40周年記念事業

新型コロナウイルス及び昨年3月に発生したザグレブ大地震の影響により、代表団の相互訪問は実施しない予定である。国内で実施の事業について調整している。

- (1) クロアチア児童文学の企画展示（時期：7月もしくは12月，1月）
「本でクロアチアを冒険しよう」と題し、市立図書館各館において所蔵しているクロアチア児童文学の企画展示を行う。翻訳者によるクロアチアの解説付きポスターも掲示予定。

3 キエフ・ザグレブ共通の記念事業

- (1) 両市間交流を紹介するパネル展示（時期：秋以降（場所により異なる））
両市間の交流経過や紹介写真等を展示し、京都市民に広く姉妹都市キエフ・ザグレブを知ってもらおう。展示場所は、国際交流協会、京都駅ビル内などを予定。

多言語情報発信サポート事業について

1 事業概要

外国籍市民等に、より精度の高い情報発信を行うため、本市の各部署等が制作する外国語の刊行物等について、作成に向けた企画段階から外国籍市民等の意見を積極的に取り入れるための意見聴取の場を設けるなどの作成支援を行う「多言語情報発信サポート事業」を令和元年度より実施している。

令和3年度予算：400,000円
令和2年度決算：449,256円
令和元年度決算：352,088円

2 令和2年度の事業実績

(1) 対象の刊行物等の名称

外国籍市民向けの防火防災啓発パンフレット（消防局作成）

(2) 実施内容

9月16日（水）10：00～12：00 第1回意見聴取会

10月7日（水）10：00～12：00 第2回意見聴取会

3月3日（水）9：30～15：00 ナレーション収録

※意見聴取会終了後、京都市国際交流協会と連携し、翻訳作業等を進め、パンフレットは、令和3年3月に発行。

※意見聴取会のほか、消防局が同パンフレットを基に作成予定の外国籍市民向けの動画に挿入する多言語（英語、中国語、朝鮮・韓国語）のナレーションの収録も行った。

(3) 意見聴取会の参加者

第1回10名、第2回8名

（ブラジル、台湾、グアテマラ、中国、アゼルバイジャン、韓国、パレスチナ、フランス、アルゼンチン、フィリピン、リトアニア、タイ）

(4) 翻訳言語

英語、中国語（簡体字）、韓国・朝鮮語

(5) 意見の冊子への反映例 (○が意見 →が反映内容)

- 行政からの大切なお知らせと分かるようにしたほうがいい。
→表紙に京都市消防局と大きく記載し、消防局のロゴも目に付く位置に配置。
- 役立つアプリなどを知りたい。
→災害に関する情報を収集できるホームページやアプリの情報を掲載。
- 災害や火災が起こったときの流れをわかりやすく示してほしい。
→災害や火災発生からの一連の流れを紹介。
- 火災についてはやってはいけないことを示したほうがいい。
→火災の危険があるものの、注意点を絞って掲載。
- 119番が消防車と救急車どちらも呼べるようになるような表紙にしてほしい。
→消防車も救急車も119番で呼べるようになる表紙デザインに変更。

<改訂前>



<改訂後>



令和3年度 京都市予算案 事業概要

産業観光局

事務事業名	京都スタートアップ・エコシステム推進プロジェクト～「スタートアップの都・京都」を目指して～		
予算額	53,000 千円	新規・充実・継続の別	充実
担当課	地域企業イノベーション推進室(222-3329) 産業イノベーション推進室(222-3324)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大により、社会が大きく変化する中、未来を展望し、京都経済の持続的発展と都市活力の創造に必要な力はイノベーションであり、その担い手は革新的な技術や斬新なビジネスアイデアで社会課題の解決に挑戦するスタートアップである。</p> <p>京都では、近年、大企業の研究施設やスタートアップを支援する世界的なアクセラレーター等が相次いで京都に事業拠点を構えるとともに、京都経済センターが開設されるなど、オール京都体制での「スタートアップ・エコシステム」形成に向けた機運が高まる中、令和2年7月、内閣府が公募する「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点都市」に京阪神地域で「グローバル拠点都市」として選定された。</p> <p>選定を契機に、オール京都及び京阪神間での連携を強化し、京都におけるスタートアップの発掘・育成・支援や国内外への発信に、より一層取り組むことで、社会課題解決に取り組むスタートアップの創出及び集積を促進し、都市の活力が創造され、市民生活の豊かさがもたらされる「スタートアップの都・京都」を目指す。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>1 グローバル拠点推進事業（新規）</p> <p>(1) 京都のスタートアップ・エコシステム等を国内外のスタートアップや投資家等に発信するとともに、オール京都及び京阪神間の連携により、京都のスタートアップの技術・アイデアを発表できる場を定期的に創出し、資金調達や販路開拓等を支援する。</p> <p>(2) 地域企業等との研究開発等に向けたマッチングの場を提供するとともに、公正な権利関係の構築など、スタートアップ等の知的財産保護の取組を支援する。</p> <p>(3) スタートアップと学生・留学生との交流の場を創出し、スタートアップの人財確保を支援する。</p> <p>2 スタートアップによる社会課題解決事業（新規）</p> <p>革新的な技術や斬新なアイデアで、環境・教育・医療・文化等、あらゆる分野の社会課題解決に挑戦するスタートアップを支援することにより、市民生活の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率：2/3 ・補助上限額：1,000千円 <p>※ その他、継続事業として、「スタートアップビザを活用した外国人起業活動促進事業」、 「ユースアントレプレナーシップ事業」などを実施。</p>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和3年度 イクレイ東アジア地域理事会について

1 開催日時

10月～11月頃

2 開催場所

未定（オンラインの可能性あり）

3 地域理事会の概要

- ・ 世界におけるイクレイの活動を促進するため、世界を9地域に分け、地域ごとに活動方針等を決定する機関として平成24年5月に創設
- ・ 5名の地域理事と2名のアドバイザーによって構成され、地域理事はイクレイ東アジア地域に属する各会員都市から選出。議長は京都市長が務める。
- ・ 年に1回地域理事が集まる理事会が開催され、各理事による活動報告や東アジア地域におけるイクレイの活動に関する議論などを実施

4 地域理事会メンバー

(1) 理事及びアドバイザー

役職	氏名	団体役職
議長	門川 大作	京都市長
副議長	ソ・チョンヒョプ	韓国・ソウル市副市長
理事(イクレイ世界理事兼任)	ヨム・テヨン	韓国・水原市長
理事	シェ・チャンター	台湾・新北市副市長
理事	ジャ・リナ	中国・長春市副市長
アドバイザー	浜中 裕徳	イクレイ日本理事長
アドバイザー	アレックス・チャン	中国・エコフォーラム・グローバル事務局長

(2) 理事の主な任務

理事会（年1回開催）への出席

5 理事会の内容

議長（京都市長）のあいさつ、各理事からの活動報告、東アジア地域におけるイクレイの活動に関する報告等

令和3年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	KYOTO STEAM－世界文化交流祭－		
予算額	150,000 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366-0033)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>平成29年度から5年間、文化庁の補助事業を活用し、芸・産学公の連携による文化芸術都市・京都の持続的な発展を目指す「KYOTO STEAM (※)－世界文化交流祭－」事業に取り組んでいる。本事業は、「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマとした国際的な文化・芸術フェスティバルの開催を中心に、人材育成、ネットワーク構築の三位一体で取り組んでおり、地域経済の発展等に資することを目的としている。</p> <p>※ STEAM・・・Science (科学), Technology (技術), Engineering (工学), Arts (芸術), Mathematics (数学)</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>令和3年度は、平成29年度から5年間の集大成となる「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－」を開催。アーティストと企業・研究所等団体を公募し、そのコラボレーションアート作品を展示・表彰する「KYOTO STEAM 2022 国際アートコンペティション」をメインプログラムとして、「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマとした各種プログラムを、岡崎地域を中心に実施する。(令和3年12月～令和4年2月予定)</p> <p>【主なプログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ KYOTO STEAM 2022 国際アートコンペティション ・ NAQUYO－平安京の幻視宇宙－ KYOTO STEAM in collaboration with MUTEK. JP ・ 古典文学×伝統芸能×新技術～ CIRQUE de KYOTO ・ アート×サイエンス IN 京都市動物園 アートで感じる？チンパンジーの気持ち ・ STEAM THINKING－未来を創るアート 京都からの挑戦 LABO / Art×Science GIG <p>ほか</p>			
<p>【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】</p> <p>令和2年秋季に京都市京セラ美術館で開催した「KYOTO STEAM 2020 国際アートコンペティション スタートアップ展」では、「アート×サイエンス・テクノロジー」から広がる新しい文化芸術の表現や今後の可能性を感じていただくことができた。</p>			

局区	担当課	事業名	実施時期	概要	新規・充実・継続	R3予算額(千円)	その他関連する国際都市像	備考	
総合企画局	国際交流・共生推進室	世界歴史都市連盟事業	令和3年6月24～26日	第17回世界歴史都市会議が、カザン市(ロシア)とオンラインのハイブリッド形式で開催される。「地域のアイデンティティ基盤としての歴史・文化遺産」をテーマに、講演や会員都市の施策の発表、討議などが行われる。 また、世界歴史都市連盟の運営や事業について理事都市間で意見交換を行うとともに、第18回世界歴史都市会議に向けた調整を行う。	新規	3142	2		
		京都市国際交流・多文化共生審議会の開催	令和3年8月及び3月(予定)(毎年度2回程度)	「京都市国際都市ビジョン」(令和3年3月策定)に掲げる本市が目指す国際都市像の実現に向け、国際交流や国際協力、多文化共生等の本市が進める国際的な事業の展開について、有識者や市民公募委員から意見をいただき、本市の国際交流・共生推進に関する施策に反映していく。	新規	326	2,3,4		
		医療通訳派遣事業	通年(平成16年度～)	医療機関に対して通訳者を派遣することにより、外国籍市民等が安心して医療サービスを受け、安全に暮らすことができるよう、言葉を中心としたサポートを行う。	継続	3,200	4		
		地域・多文化交流ネットワーク促進事業	通年(平成23年度～)	東九条地域において、これまでの自主的な地域活動や多文化共生に向けた取組の実績を踏まえ、地域住民及び各種団体を主体とした地域交流・多文化交流を深める取組等を実施することにより、京都市域における多文化共生・地域福祉の推進を図る。	継続	16,438	4		
		京都市外国籍市民総合相談窓口運営	通年(令和元年度～)	在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、多言語による情報提供及び相談を行う。	継続	5,365	4	行政通訳:平成19年度～	
		多言語情報発信サポート事業	未定(令和元年度～)	ただ外国語に直訳するのではなく、より精度の高い情報発信を行うために、本市の各部署等が制作する外国語の刊行物等について、作成に向けた企画段階から外国籍市民等の意見を積極的に取り入れるための意見聴取の場を設ける等の作成支援を行う。	継続	400	4		
	総合政策室 留学生支援・大学連携推進担当	災害時多言語電話通訳事業	通年(令和2年度～)	災害発生時、避難所の運営主体等が、日本語を話せない外国籍市民等が来られた際に対応できるよう、多言語対応した専用の電話回線により通訳可能な体制を整える。(避難所等の開設期間中、24時間利用可能)	継続	500	4	令和2年度は「災害時における外国籍市民等の防災体制整備事業」として予算を計上	
		留学生スタディ京都ネットワーク	通年(平成27年度～)	大学、日本語学校、専修学校、経済界、京都府とともに、海外から京都の大学等への留学を促進するための組織を設立し、海外や首都圏の日本語学校から留学生を獲得するためのプロモーションや、国内外からの相談・問合せへのワンストップ窓口の開設、さらに留学生の住環境整備や就業支援に関して、オール京都体制で推進していく。	継続	—			
	文化市民局	文化芸術企画課	受入環境整備事業	通年(令和元年度～)	来日後の留学生を支援するため、行政手続や生活ルール等に係る情報提供やサポートなどの支援メニューを用意し、大学や日本語学校等を通じて留学生に提供する。	継続	—		
			東アジア文化都市交流事業	通年	東アジア文化都市2017の同時開催都市として選ばれた中国・長沙市、韓国・大邱広域市との文化芸術による交流を行う。 なお、今年度は予算措置が見送られたことから、可能な範囲で情報交換等を行う。	継続	—	2,3	
アート市場活性化事業			秋以降	企画ギャラリーの集積と若手アーティストの創作環境の向上を目指し、国内外アートフェアへの出店を支援する。	新規	—			
産業観光局	産業イノベーション推進室	KYOTO STEAM—世界文化交流祭—	通年	アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに文化芸術の新たな可能性と価値を世界に問う新しい形態の国際的な文化・芸術の祭典を開催する。	継続	150,000	2,3		
		中小企業海外展開支援事業	平成26年度～	平成27年1月に誘致したジェトロ京都と連携し、海外展開に係る相談窓口の設置、セミナーや商談会の実施など、中小企業の海外展開、ネットワークづくりを促進するための支援に取り組む。	継続	11,700			
都市計画局	まち再生・創造推進室	京都スタートアップ・エコシステム推進プロジェクト	令和3年度～	令和2年7月、内閣府が公募する「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点都市」に京阪神地域で「グローバル拠点都市」として選定された。 選定を契機に、オール京都及び京阪神間での連携を強化し、京都におけるスタートアップの発掘・育成・支援や国内外への発信により、一層取り組むことで、社会課題解決に取り組むスタートアップの創出及び集積を促進し、都市の活力が創造され、市民生活の豊かさがもたらされる「スタートアップの都・京都」を目指す。	充実	53,000	2	※予算額は、プロジェクト全体の予算額であり、全てが海外展開・情報発信等に係るものではありません。	
		海外の行政機関・教育機関からの視察受入、情報発信	通年	(公財)京都市景観・まちづくりセンターでは、国内外の行政機関、教育機関等からの視察を受入れ、京都の景観・まちづくりや京町家の保全・再生に関する情報発信を実施。ホームページ等の英語表記の整備。	継続	—			
上下水道局	水道部施設課	施設見学の受入れ	通年	外国人研修生等の受入については、新型コロナウイルス感染症の国内外の状況に応じて、オンライン研修の実施又は来日しての研修の実施について判断し、受入れを行っていく。	継続	—			
	下水道部施設課	施設見学の受入れ	通年	外国人研修生等の受入については、新型コロナウイルス感染症の国内外の状況に応じて、オンライン研修の実施又は来日しての研修の実施について判断し、受入れを行っていく。	継続	—			
教育委員会	生涯学習部 生涯学習推進担当	京都市内博物館ガイドブック「京都ミュージアム探訪」(日本語版及び英語版)の改訂版発行及びweb配信	平成31年3月～	2019年の国際博物館会議(ICOM)京都大会や東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、平成25年に発行した京都市内博物館ガイドブック「京都ミュージアム探訪」(日本語版及び英語版)を、最新の情報へ更新し、より読みやすく、興味を引く内容とし、広く発信するため、平成31年3月に、書籍の改訂版を発行するとともに新たにwebサイトでの配信を開始した。	継続	164			
		多言語化対応事業	冬頃	世界中から観光客が入浴し、京都市内博物館施設連絡協議会に加盟する博物館・美術館にも多国籍な来館者が増加する中、Web・パンフレットの多言語化、作品目録での英語の書き方、SNSサイトで使える魅力的な表現や館内サインの多言語での表現方法等、実践的な内容に踏み込んだ研修を実施し、外国人が博物館を訪れやすい環境整備を図る。	新規	300	4		
	生涯学習部 施設運営担当	多言語化パンフレット・リーフレット	パンフレット:通年 リーフレット:令和3年度～	古典の日記念 京都市平安京創生館では、英語・中国語・ハンガルのパンフレットを作成し、常設する模型等の解説を掲載。増加する外国人来館者のため、常設展示の解説英語版案内板を設置するとともに、英語版解説チラシを配置。 令和2年度、「平安京創生館」を幅広く学習に活用する4か国語(日本語・英語・中国語・ハンガル)リーフレットを作成し、人材育成はもちろんのこと、観光など更なる活用に供する。(春季に配布)	継続・新規	—	4		
	学校歴史博物館	多言語化音声ガイド・パンフレット・リーフレット	平成29年度～	英語・韓国語・中国語・日本語の音声ガイドと英語・韓国語・中国語のパンフレット・リーフレットを平成29年度に作成し、平成30年度から外国人観光客等に使用している。	継続	—			
	青少年科学センター	多言語通訳サービス	令和元年7月～	青少年科学センター内の改札において、外国人来館者に対し、翻訳機による英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語等48ヶ国語対応の通訳サービスを実施し、来館者サービスの向上を図る。	継続	—			
		展示品名の多言語表記	通年	新しい展示品を導入する際には、日本語に加え、英語・中国語・韓国語で展示品名を表示している。	継続	—			

国際都市像2 海外都市との連携が強まり、国際社会に貢献するまち

局区	担当課	事業名	実施時期	概要	新規・充実・継続	R3予算額(千円)	その他関連する国際都市像	備考
総合企画局	国際交流・共生推進室	京都・キエフ姉妹都市提携50周年記念事業及び京都・ザグレブ姉妹都市提携40周年記念事業	令和3年度	キエフ市との提携50周年及びザグレブ市との提携40周年を記念し、市民団体や関係機関と協力しながら、相互の文化を発信する事業等を実施していく。	新規	3970		
		京都市国際交流・多文化共生審議会の開催	令和3年8月及び3月(予定)(毎年度2回程度)	「京都市国際都市ビジョン」(令和3年3月策定)に掲げる本市が目指す国際都市像の実現に向け、国際交流や国際協力、多文化共生等の本市が進める国際的な事業の展開について、有識者や市民公募委員から意見をいただき、本市の国際交流・共生推進に関する施策に反映していく。	新規	326	1.3.4	再掲
		ニュー・ブランシュ KYOTO	令和3年10月1日または2日	姉妹都市パリ市発祥の現代アートのイベントを京都市内の複数会場で開催する。例年10月の第一土曜日の夜に開催している。	継続	1150		
		世界歴史都市連盟事業	令和3年6月24～26日	第17回世界歴史都市会議が、カザン市(ロシア)とオンラインのハイブリッド形式で開催される。「地域のアイデンティティ基盤としての歴史・文化遺産」をテーマに、講演や会員都市の施策の発表、討議などが行われる。 また、世界歴史都市連盟の運営や事業について理事都市間で意見交換を行うとともに、第18回世界歴史都市会議に向けた調整を行う。	新規	3142	1	再掲
		F.Cケルンとのサッカー交流	令和3年5月～6月	ケルン市との姉妹都市交流の一環として、同市に拠点を持つプロサッカーチームである「F.Cケルン」と、「一般社団法人京都府サッカー協会」がサッカーのコーチングや選手育成について、オンラインでの意見交換を行う。本市としては、この交流の支援(両団体間の連絡・調整等)を行う。	新規	—		
		ケルンマラソン 姉妹都市ランナー募集	令和3年10月3日(予定)	本市の姉妹都市であるケルン市で実施予定の「ケルンマラソン」の姉妹都市ランナー枠(エントリーフィー無料)として、参加いただける市民の方を募集し、姉妹都市交流の促進につなげる。 ※ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、開催方法の変更等の可能性もある。	継続	—		
環境政策局	地球温暖化対策室	イクレイ日本事業への参加	通年	平成8年9月から持続可能な社会の実現に積極的に取り組む自治体及び自治体連合で構成された国際的な連合組織である「イクレイ-持続可能な都市と地域をめぐす自治体協議会」に加盟し、国内外の自治体との連携を図っている。イクレイの日本での活動を支援するため、(一社)イクレイ日本に本市職員を1名派遣している。	継続	2,478		
		イクレイ東アジア地域理事会への出席	未定	門川市長が議長を務めるイクレイ東アジア地域理事会において、世界における地球温暖化対策に関する情報収集を行うとともに、1.5℃を目指す京都アピール及び本市の地球温暖化対策を発信する。	継続	2,374		
		Carbon Neutral Cities Allianceの年次会合への参加	令和3年度実施予定	2050年までに80%以上の温室効果ガス削減を掲げる都市のネットワーク「Carbon Neutral Cities Alliance」(加盟都市は19都市、日本の都市では横浜市が唯一加盟)が年に一度、年次会合を開催しており、会員都市の横浜市を通じてゲストシティとして招かれたため、参加を予定している。	新規	350		
		世界気候エネルギー首長誓約(「世界首長誓約/日本」)への参画	通年	平成31年1月、世界最大の気候変動に関する都市間連携組織「世界気候エネルギー首長誓約」に加盟し、門川市長が日本の地域組織「世界首長誓約/日本」の運営委員長に就任。年に一度、運営委員会が開催され、今年度も参加を予定している。	継続	—		
文化市民局	文化芸術企画課	東アジア文化都市交流事業	通年	東アジア文化都市2017の同時開催都市として選ばれた中国・長沙市、韓国・大邱広域市との文化芸術による交流を行う。 なお、今年度は予算措置が見送られたことから、可能な範囲で情報交換等を行う。	継続	—	1.3	再掲
		KYOTO STEAM—世界文化交流祭—	通年	アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに文化芸術の新たな可能性と価値を世界に問う新しい形態の国際的な文化・芸術の祭典を開催する。	継続	150,000	1.3	再掲
	市民スポーツ振興室	京都マラソン2022	令和4年2月20日	京都市の姉妹都市9都市からランナーを招待(各都市2名を上限)するとともに、国外から広くランナーを募集する。 また、多言語サイトの作成、語学ボランティアの配置、多言語で案内サインを設置し、おこしやす広場をはじめ、大会を通じて京都の文化の発信に取り組む。 ※ 大会実施形態や新型コロナウイルスの影響などにより、上記取組が実施できない可能性あり。	充実	—		
産業観光局	産業イノベーション推進室	京都スタートアップ・エコシステム推進プロジェクト	令和3年度～	令和2年7月、内閣府が公募する「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点都市」に京阪神地域で「グローバル拠点都市」として選定された。 選定を契機に、オール京都及び京阪神間での連携を強化し、京都におけるスタートアップの発掘・育成・支援や国内外への発信に、より一層取り組むことで、社会課題解決に取り組むスタートアップの創出及び集積を促進し、都市の活力が創造され、市民生活の豊かさがもたらされる「スタートアップの都・京都」を目指す。	充実	53,000	1	再掲
都市計画局	まち再生・創造推進室	ワールド・モニュメント財団との連携による京町家再生プロジェクトの実施	通年	(公財)京都市景観・まちづくりセンターでは、歴史遺産や建造物等の保存を支援する世界最大の非営利団体ワールド・モニュメント財団(米国)と連携し、京町家の魅力と現代的価値を海外に情報発信している(H21～)。平成29年度から、同財団と連携して助成・支援を行った。四條町大船鉾会所の改修プロジェクトがユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞最優秀賞を受賞した。四條町大船鉾会所の改修プロジェクトは、令和元年度にICOMやユネスコが開催を支援する、文化遺産の保全に関する国際大会「The Best in Heritage」(開催国クアチア)に招待され、優秀賞を受賞した。令和2年度には「The Best in Heritage」を通じてホームページや発行物でプロジェクトの内容が発信された。	継続	—		
教育委員会	学校指導課(初等中学校教育担当)	姉妹都市との交流	令和3年9月下旬	姉妹都市交歓作品展 ・市立幼稚園・学校の園児・児童・生徒の作品及び姉妹都市の子どもの作品約2,500点を一堂に展示する「京都市幼児・児童・生徒作品展及び姉妹都市交歓作品展」を開催。 ・作品展終了後、本市の出品作品のうち約200点を姉妹都市に交歓作品として贈呈。 ・令和3年度は姉妹都市提携が、キエフ市とは50周年、ザグレブとは40周年であり、関連付けた企画を検討中。	継続	967	3	

国際都市像3 さまざまな世代で国際交流や多文化共生の意識が高まり、国際感覚をもった人が育つまち

局区	担当課	事業名	実施時期	概要	新規・充実・継続	R3予算額(千円)	その他関連する国際都市像	備考
総合企画局	国際交流・共生推進室	京都市国際交流・多文化共生審議会の開催	令和3年8月及び3月(予定) (毎年度2回程度)	「京都市国際都市ビジョン」(令和3年3月策定)に掲げる本市が目指す国際都市像の実現に向け、国際交流や国際協力、多文化共生等の本市が進める国際的な事業の展開について、有識者や市民公募委員から意見をいただき、本市の国際交流・共生推進に関する施策に反映していく。	新規	326	1,2,4	再掲
		国際交流会館管理運営(指定管理)	通年 (平成31(令和元)年度～)	京都の国際交流・多文化共生の拠点として、国際交流団体等との連携事業や、外国籍市民等からの相談に多言語で応じる「京都市外国籍市民総合相談窓口」の運営などを行うことにより、市民が多様な価値観に触れる機会を創出するとともに、外国籍市民等が安心して生活できる環境づくりを進める。	継続	192,486	4	【指定管理者】 公益財団法人京都市国際交流協会 【指定管理期間】 平成18年度～上記団体を指定管理者に選定。
文化市民局	文化芸術企画課	東アジア文化都市交流事業	通年	東アジア文化都市2017の同時開催都市として選ばれた中国・長沙市、韓国・大邱広域市との文化芸術による交流を行う。 なお、今年度は予算措置が見送られたことから、可能な範囲で情報交換等を行う。	継続	—	1,2	再掲
		KYOTO STEAM—世界文化交流祭—	通年	アート×サイエンス×テクノロジーをテーマに文化芸術の新たな可能性と価値を世界に問う新しい形態の国際的な文化・芸術の祭典を開催する。	継続	150,000	1,2	再掲
人事委員会事務局	—	京都市職員採用試験(青年海外協力隊等活動経験者)	11月	青年海外協力隊等の活動で培われた柔軟な発想や行動力を京都市政に活かせる方の確保を目的として採用試験を実施する。	継続	—	—	—
上下水道局	経営戦略室	JICA課題別研修「上水道施設技術総合」の受入れ	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施時期未定 (例年:5月下旬～7月上旬)	JICA課題別研修「上水道施設技術総合(水道基本計画設計A)」を、日本水道協会主催により実施する。 京都市では京都市水道の概要・歴史、水道事業の広報に関する講義や、琵琶湖疏水記念館及び水質管理センター内施設の視察を担当する。	継続	—	—	—
		JICA課題別研修「都市上水道維持管理」の受入れ	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施時期未定 (例年:7月上旬～8月上旬)	JICA課題別研修「都市上水道維持管理(浄水・水質A)」を、大阪市水道局との共同により、約1箇月間実施する。 京都市では、浄水場施設の視察や、水質計器に関する講義等を担当する。	継続	—	—	—
教育委員会	学校指導課 (初等中学校教育担当、高校担当)	英語教育の推進	通年	子どもたちが実践的な英語力を身につけることができるよう、小学校で日常的に英語に触れるための取組、中高校生の英検受検料補助、高校での海外研修等や海外姉妹校との相互交流に取り組んでいる。(海外研修等については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を検討中。) また短期・長期留学支援において主体的な海外留学への支援を行い、文部科学省の留学支援制度であるトビタテ留学JAPANへの積極的な応募も促している。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、短期・長期留学支援は実施を検討中。トビタテ留学JAPANについては、文部科学省が7月出発の募集を既に行っており、今後の情勢を鑑みた通知が5月末を目途に通知される。)	継続	33,410	—	—
	学校指導課 (初等中学校教育担当)	外国語指導助手(ALT)の活用促進と教員の実践的英語力の養成	通年	小学校外国語活動の早期化・教科化に伴う授業時数増や中・高等学校での授業改善による高度な実践的英語力の育成(英語4技能の総合的な育成など)に向け、ALT(外国語指導助手)の計画的な配置や教職員研修の充実等により、指導力の向上を図る。	継続	331,169	—	—
		姉妹都市との交流	令和3年9月下旬	姉妹都市交歓作品展 ・市立幼稚園・学校の園児・児童・生徒の作品及び姉妹都市の子どもたちの作品約2,500点を一堂に展示する「京都市幼児・児童・生徒作品展及び姉妹都市交歓作品展」を開催。 ・作品展終了後、本市の出品作品のうち約200点を姉妹都市に交歓作品として贈呈。 ・令和3年度は姉妹都市提携が、キエフ市とは50周年、ザグレブとは40周年であり、関連付けた企画を検討中。	継続	967	2	再掲
	体育健康教育室	諸外国の食文化の体験	通年	諸外国の料理や様々な調理方法による献立を提供することで、食に対する理解を深めていく取組を進めている。	継続	—	—	—
	生涯学習部 施設運営担当	京都市図書館での英語多読図書等の貸出、英語絵本の読み聞かせ等	通年	京都市図書館では、児童書を中心とした英語多読図書等を所蔵し、貸出を行っている。山科・吉祥院図書館では、子ども達やその保護者などを対象とした英語絵本の読み聞かせ等を中心とした行事を開催し、中央図書館では、英語を含む外国語絵本の読み聞かせや外国語による挨拶・遊びの紹介などを行う「多言語おはなし会」を開催している。 また、下京図書館ではザグレブ姉妹都市提携40周年の関連図書を展示する。	継続	—	—	—

国際都市像4 多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

局区	担当課	事業名	実施時期	概要	新規・充実・継続	R3予算額(千円)	その他関連する国際都市像	備考
総合企画局	国際交流・共生推進室	京都市国際交流・多文化共生審議会の開催	令和3年8月及び3月(予定)(毎年度2回程度)	「京都市国際都市ビジョン」(令和3年3月策定)に掲げる本市が目指す国際都市像の実現に向け、国際交流や国際協力、多文化共生等の本市が進める国際的な事業の展開について、有識者や市民公募委員から意見をいただき、本市の国際交流・共生推進に関する施策に反映していく。	新規	326	2.3.4	再掲
		医療通訳派遣事業	通年(平成16年度～)	医療機関に対して通訳者を派遣することにより、外国籍市民等が安心して医療サービスを受け、安全に暮らすことができるよう、言葉を中心としたサポートを行う。	継続	3,200	1	再掲
		地域・多文化交流ネットワーク促進事業	通年(平成23年度～)	東九条地域において、これまでの自主的な地域活動や多文化共生に向けた取組の実績を踏まえ、地域住民及び各種団体を主体とした地域交流・多文化交流を深める取組等を実施することにより、京都市域における多文化共生・地域福祉の推進を図る。	継続	16,438	1	再掲
		京都市外国籍市民総合相談窓口運営	通年(令和元年度～)	在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、多言語による情報提供及び相談を行う。	継続	5,365	1	・再掲 ・行政通訳:平成19年度～
		多言語情報発信サポート事業	未定(令和元年度～)	ただ外国語に直訳するのではなく、より精度の高い情報発信を行うために、本市の各部署等が制作する外国語の刊行物等について、作成に向けた企画段階から外国籍市民等の意見を積極的に取り入れるための意見聴取の場を設ける等の作成支援を行う。	継続	400	1	再掲
		災害時多言語電話通訳事業	通年(令和2年度～)	災害発生時、避難所の運営主体等が、日本語を話せない外国籍市民等が来られた際に対応できるよう、多言語対応した専用の電話回線により通訳可能な体制を整える。(避難所等の開設期間中、24時間利用可能)	継続	500	1	・再掲 ・令和2年度は「災害時における外国籍市民等の防災体制整備事業」として予算を計上
		国際交流会館管理運営(指定管理)	通年(平成31(令和元)年度～)	京都の国際交流・多文化共生の拠点として、国際交流団体等との連携事業や、外国籍市民等からの相談に多言語で応じる「京都市外国籍市民総合相談窓口」の運営などを行うことにより、市民が多様な価値観に触れる機会を創出するとともに、外国籍市民等が安心して生活できる環境づくりを進める。	継続	192,486	3	・再掲 【指定管理者】公益財団法人京都市国際交流協会 【指定管理期間】平成18年度～上記団体を指定管理者に選定。
総合政策室 留学生支援・大学連携推進担当	留学生就職サポート事業	通年(平成29年度～)	京都で学ぶ留学生を対象に、個別相談等の実施により、個々の留学生に寄り添ったきめ細やかな支援を行い、就職活動のフォローを行うことで、留学生の京都企業へ繋げていく。	継続	—			
行財政局	防災危機管理室	京都市防災ポータルサイト多言語発信	令和3年度	京都市防災ポータルサイトを多言語での自動翻訳機能で運用している。	継続	4,990		システム全体の保守費用(多言語部分のみ算出できない)
文化市民局	地域自治推進室	テレビ電話型翻訳タブレットを活用した区役所・支所における窓口サービスの充実	令和2年5月1日～	本市で暮らす外国籍市民の方が、転入・転出、医療、子育て等に係る各種手続きや市民生活相談で、区役所・支所を訪れた際に、窓口で多言語での対応ができるよう、各区役所・支所に、テレビ電話型翻訳タブレット端末を配備した。 ※対応言語:15言語(英語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語、フィリピン語、インドネシア語、スペイン語、ヒンディー語、タイ語、フランス語、ロシア語、中国語、クメール語、ミャンマー語)	継続	2,400		
子ども若者はぐみ局	育成推進課	外国籍市民等を対象とした日本語教室の開講	通年	伏見青少年活動センターにおいて、青少年ボランティアによる日本語を母語としない人々を対象とした「にほんご教室」を開講(平成14年度～)	継続			指定管理料の一部で実施
消防局	警防部救急課	日本語を介してのコミュニケーションが困難な方に対する救急現場対応ツールの活用	通年	・救急現場で使用頻度が高い会話内容を定型文登録している多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」を活用 ・外国人傷病者等からの問診及び情報収集をより円滑にするため、8箇国語の多言語シート(英語、中国語[簡体字]、韓国・朝鮮語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、中国語[繁体字])を活用	継続	—		
	警防部情報指令課	多言語通訳体制の確保	通年	日本語を介してのコミュニケーションが困難な方に対し、119番通報時や災害現場活動時において5箇国語通訳サービス(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語)を実施	継続	990		
	予防部市民安全課	外国籍市民等に対する防災啓発の推進	通年	・外国人留学生を対象に防災対策等を掲載した多言語リーフレット(やさしい日本語・英語・中国語・韓国語の4箇国語)による防災啓発の実施 ・外国人が災害等にあつた際に、通報を周囲の人に依頼できるように6箇国語(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語)の緊急通報カードを希望者に配布	継続	119		
交通局	企画総務部 総務課	多言語対応のスマートフォン・タブレット用HPの運用	通年	・4箇国語(日・英・中・韓)対応のスマートフォン・タブレット用HP「京都市バス・地下鉄ガイド」の運用	継続	511		
	企画総務部 営業推進課	「地下鉄・バスナビ」の制作	通年	外国人観光客向けに、主な観光地へのアクセス早見表や地下鉄・市バスの乗り方などを掲載した市バス・地下鉄の路線図を3箇国語(英語、中国語、韓国語)で制作している。	継続	8,520		
		多言語コールセンターサービス	通年	外国人観光客の方々に市バス・地下鉄をより快適にご利用いただけるよう、すべての案内所、定期券売所において、平成24年5月から多言語コールセンターのサービスを提供している。	継続	—		
		コミュニケーションボード及びタブレット端末の配備	通年	・市バス・地下鉄の運賃や支払方法といった利用方法などの基本的な案内文とイラストを記載した、日・英・中・韓対応の「コミュニケーションボード」を作成し、市バス全車両に配備 ・平成27年度に40箇国語以上対応の自動翻訳アプリなどを導入したタブレット端末を全駅及び案内所に配備	継続	354		
	自動車部運輸課	外国語等による情報提供の充実	通年	・次の停留所名をご案内する「次は(停留所名)表示」を四箇国語(日・英・中・韓)とするとともに、次の停留所に停車することをご案内する「つぎとまります」の表示を四箇国語(日・英・中・韓)としている。 ・急行系統(100,101,102号系統)に関して、車内案内放送を四箇国語(日・英・中・韓)としている。	継続	—		
		災害時等における外国語等による情報提供	通年	災害時、緊急時等にバス車内で掲示する運行情報等の案内文について、四箇国語(日・英・中・韓)表記をしている。	継続	—		
		外国語のコミュニケーションボードの用意	通年	市バスの運賃や支払方法といった利用方法などの基本的な案内文とイラストを記載した、日・英・中・韓対応の「コミュニケーションボード」を作成し、市バス車両に配備	継続	200		
高速鉄道部運輸課	外国語等による情報提供の充実	通年	・外国人旅客とより円滑にコミュニケーションを図るため、全駅に「自動翻訳付きタブレット」を配備。加えて主要3駅(京都駅、四條駅、烏丸御池駅)に多言語対応小型通訳機を配備。 ・JIS規格に対応したピクトグラムによる駅構内の案内表示を掲出するとともに、駅ナンバリング表示を導入し、外国人の方にも分かりやすい表示を実施。	継続	—			
	多言語電話通訳サービス	通年	・外国人旅客との意思疎通をスムーズにし、的確に案内ができるよう、公益財団法人京都文化交流コンベンションヒーローが実施している電話による外国語通訳を行う「多言語コールセンター」のサービスを全駅に導入している。(対応言語)英語、中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・フランス語・タイ語	継続	—			
	災害時等における外国語等による情報提供	通年	災害時等における運行情報を外国人旅客の方にも分かるよう、多言語(日・中・英・韓)での案内文を駅構内に掲示している。加えて、車内にホームページへ誘導する二次元コードを貼付し、運行情報の提供に努めている。	継続	—			
高速鉄道部 高速車両課	外国語等による情報提供の充実	通年	車内の案内表示装置及び車外の行先表示装置を4箇国語(日、英、中、韓)表示が可能な機器へと更新(一部新設) ・令和元年度:烏丸線車両の更新完了(新型車両9編成を除く) ・令和2年度:東西線車両の更新完了 ・令和3年度から令和7年度にかけて、烏丸線新型車両9編成の更新を実施。令和3年度は1編成の更新を予定	充実	48,675			
上下水道局	総務部 お客さまサービス推進室	外国語のコミュニケーションボードの用意	通年	各営業所・お客さま窓口サービスコーナーにおいて、外国から京都市内に転居されたお客さまの来所目的等を確認するために、外国語のコミュニケーションボード(英語、韓国語、中国語)を用意する。	継続	—		
		各種申込用紙に係る英語版記入例の用意	通年	各営業所・お客さま窓口サービスコーナーにおいて、外国人のお客さまとの対応方法を充実するため、英語版の記入例を用意する。	継続	—		
		多言語電話通訳サービス	通年	各営業所・お客さま窓口サービスコーナーにおいて、外国人のお客さまからの電話に対し、お客さま、職員、通訳者(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語等)の3者が同時に会話を行う。また、窓口に来庁されたお客さまには電話機のスピーカー機能等を活用して通訳者を交えた対応を行う。	継続	420		
水道部	水道部 水道部 水道部 水道部	水道部 水道部 水道部 水道部	通年	上下水道局が発行・印刷するパンフレット等の外国語対応を実施する。 【パンフレット等】 ・琵琶湖疏水:英語 ・京の水道 蹴上浄水場:英語 ・京の水道 松ヶ崎浄水場:英語 ・京の水道 新山科浄水場:英語	継続	—		
		下水道部 下水道部	通年	上下水道局が発行・印刷するパンフレット等について、外国語対応を行っている。 【パンフレット等】 ・鳥羽水環境保全センター概要:英語、中国語 ・鳥羽水環境保全センター 吉祥院支所:英語	継続	—		
教育委員会	学校指導課 (人権教育担当)	留学生による母語支援活動	通年(平成27年度～)	市立小・中学校において、来日間もない帰国・外国人児童生徒等の母語支援活動に留学生の参加を進めることで、留学生を受け入れ、留学生の活躍の場を広げるとともに、当該児童生徒が安心して日本の学校生活に適應していけるような学習環境の充実を図る。	継続	1,332		
		多文化が息づくまちづくりに向けた日本語指導体制等の充実	通年(平成28年度～)	日本語の理解が十分でない外国にルーツをもつ児童生徒等の増加傾向をふまえ、受入時に迅速かつ的確に対応できる新たな体制として、日本語指導担当教員の派遣等の総合的な支援を行うサポート校を設置し、外国にルーツをもつ児童生徒の受け入れを進めている。その体制のもと、巡回指導を担当する教員、母語による学校生活の適応促進や通訳等の主に言語面の支援を行う母語支援員を配置して一層の充実を図る。	継続	22,595		
		教育や子育てに関する情報の多言語化の推進	冬頃(平成30年度～)	日本語を母語としない就学前の子どもの保護者に対し、小学校生活についての必要な情報等を確実に伝えるために、必要事項を多言語で記載したリーフレットを配布する。 また、令和2年度からは、日本語を母語としない保護者に対して、多言語による「小学校生活 親子オリエンテーション」を新たに実施し、日本の小学校生活や入学準備等について、小学校生活スタートガイドに加えて写真や実物を直接示す等、より効果的な手法で説明を行うと共に、家庭での母語保持の大切さについて伝える。	継続	750		
		生涯学習部 施設運営担当	多言語化パンフレット・リーフレット	パンフレット:通年 リーフレット:令和3年度～	古典の日記 京都市平安京創生館では、英語・中国語・ハンガルのパンフレットを作成し、常設する模型等の解説を掲載。増加する外国人来館者のため、常設展示の解説英語版案内板を設置するとともに、英語版解説チラシを配置。 令和2年度、「平安京創生館」を幅広く学習に活用する4か国語(日本語・英語・中国語・ハンガル)リーフレットを作成し、人材育成はもちろんのこと、観光など更なる活用に供する。(春季に配布)	継続・新規	—	1